

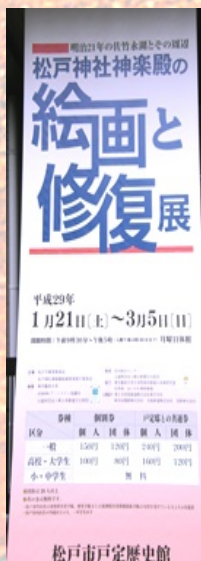


ワークショップ

杉板に絵を描いてみよう

平成29年1月26日・2月9日

～ 日本画 ～



松戸神社の神楽殿は、老朽化に伴い平成26年に建て替えが行われました。その際、格天井と杉戸に描かれた絵画の保存修復事業が行われ、翌年新設された神楽殿に設置されました。

松戸市戸定歴史館では、1月21日から3月5日までの間「松戸神社神楽殿の絵画と修復展」を開催し、保存修復事業の紹介と絵画の展示公開を実施しました。

生涯学習推進課では、この展示会の関連イベントとして、「杉板に絵を描いてみよう」という講座を企画しました。当日は、戸定歴史館において佐竹永湖・錦閨の絵画の鑑賞をした後、文化ホールにおいて、杉板に日本画を描くというワークショップに取り組みました。



下絵を描き、丁寧に胡粉を塗っていきます。胡粉が乾くと、見る見るうちに美しい白が浮き上がってきます。昔の人の知恵と伝統の素晴らしさに感動する瞬間です。

講師 日本画家 泉 晴行 氏  
戸定歴史館での絵画の解説、日本画の指導をお願いしました。日本画の歴史をはじめ杉板への下絵の描き方、絵の具の塗り方等、日本画の技法についても丁寧に教えていただきました。



生涯学習推進課では、芸術・文化に関するたくさんの講座を揃えて皆様のお越しをお待ちしています。詳しくは『広報まつど』、もしくは ☎ (387) 7810 までお問い合わせください。